

## 交付図書の訂正について

令和7年3月26日付けで入札公告を行った「(工事名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の入札公告についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、入札公告をご確認ください。

令和7年6月10日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社

支社長 堀 圭 一

### 【訂正図書】

・08\_【特記仕様書】道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

・④【設計図】道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

・⑤【設計図】道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

・⑥【設計図】道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

正誤表(1)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所

特記仕様書  
2 0 - 2  
建設副産物の活用等

誤

1 9 - 7 環境保全に関する費用

環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書 1 9 - 1 に定める観測、対策工等（1 9 - 4 に定める六価クロム溶出試験）に要する費用以外は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

**2 0 . 再生資源及び建設副産物に関する事項**

2 0 - 1 再生資材の使用

(1) 再生資材は、下表に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。

単価表の項目	再生資材の種類	数量
4 - ( 1 6 ) 裏込め砕石 A	再生クラッシャーラン	約 130 m <sup>3</sup>
2 - ( 8 ) 基礎材 B1	再生クラッシャーラン	約 80 m <sup>3</sup>
4 - ( 1 7 ) 基礎工 コンクリート基礎 C ( F )	再生クラッシャーラン	約 5 m <sup>3</sup>

(2) 受注者は前項(1)に示す建設発生土以外の再生資材の施工にあたっては、その都度、再資源化施設に品質及び供給可能量の照会（様式- 7 ）を行うものとする。なお、照会にあたっては、次の手順で再資源化施設等を選定するものとする。

イ) 再生骨材等及び再生加熱アスファルト混合物にあつては、当該工事現場から概ね 4 0 k m の範囲内（再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が 1 . 5 時間の範囲内）の再資源化施設とする。

ロ) 上記範囲内に複数の再資源化施設等がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明ができる 3 施設程度とする。

(3) 受注者は前項(1)に示す再生クラッシャーランについて、使用用途に応じた品質が満足されない場合は監督員へ報告しなければならない。この場合において監督員が必要であると認めて材料の変更等を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。

**2 0 - 2 建設副産物の活用等**

(1) 共通仕様書 1 - 2 8 の規定に基づき指定する建設副産物の取扱いは、下表のとおりとする。

建設副産物	発生場所	数量	活用方法等
コンクリート塊	補強土壁工（トマム川橋）	—	率計上
	補強土壁工（トマム橋）		再資源化施設へ搬出（有償）
	護岸工(宮武の沢川)		
	親杭(モルタル充填)（中トマム川橋・トマム橋）	約 8 t	率計上 再資源化施設へ搬出（有償）
	場所打ち杭杭頭処理	約 190 t	再資源化施設へ搬出（有償）

19

正

1 9 - 7 環境保全に関する費用

環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書 1 9 - 1 に定める観測、対策工等（1 9 - 4 に定める六価クロム溶出試験）に要する費用以外は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

**2 0 . 再生資源及び建設副産物に関する事項**

2 0 - 1 再生資材の使用

(1) 再生資材は、下表に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。

単価表の項目	再生資材の種類	数量
4 - ( 1 6 ) 裏込め砕石 A	再生クラッシャーラン	約 130 m <sup>3</sup>
2 - ( 8 ) 基礎材 B1	再生クラッシャーラン	約 80 m <sup>3</sup>
4 - ( 1 7 ) 基礎工 コンクリート基礎 C ( F )	再生クラッシャーラン	約 5 m <sup>3</sup>

(2) 受注者は前項(1)に示す建設発生土以外の再生資材の施工にあたっては、その都度、再資源化施設に品質及び供給可能量の照会（様式- 7 ）を行うものとする。なお、照会にあたっては、次の手順で再資源化施設等を選定するものとする。

イ) 再生骨材等及び再生加熱アスファルト混合物にあつては、当該工事現場から概ね 4 0 k m の範囲内（再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が 1 . 5 時間の範囲内）の再資源化施設とする。

ロ) 上記範囲内に複数の再資源化施設等がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明ができる 3 施設程度とする。

(3) 受注者は前項(1)に示す再生クラッシャーランについて、使用用途に応じた品質が満足されない場合は監督員へ報告しなければならない。この場合において監督員が必要であると認めて材料の変更等を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。

**2 0 - 2 建設副産物の活用等**

(1) 共通仕様書 1 - 2 8 の規定に基づき指定する建設副産物の取扱いは、下表のとおりとする。

建設副産物	発生場所	数量	活用方法等
コンクリート塊	補強土壁工（トマム川橋）	—	率計上
	補強土壁工（トマム橋）		再資源化施設へ搬出（有償）
	護岸工(宮武の沢川)		
	親杭(モルタル充填)（中トマム川橋・トマム橋）	約 8 t	率計上 再資源化施設へ搬出（有償）
	場所打ち杭杭頭処理	約 190 t	再資源化施設へ搬出（有償）

19



## 正誤表(2)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所		正誤区分															
特記仕様書 2 7 - 3 - 3 構造物掘削及び構造物裏込め工 (1) 種別	誤	<table><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 2</td><td>1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) 及び鋼管擁壁施工区間における施工箇所 (STA1001+10.0 が ML)において、基礎地盤の土砂及び軟岩の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 3</td><td>1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 2 橋脚) の施工箇所において土留工の設置、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 4</td><td>1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) の施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 1</td><td>1) トマム橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 2</td><td>1) トマム橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) 施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 C 1</td><td>1) トマム川橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 C 2</td><td>1) トマム川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) のオープンケーソン止水壁区間における施工箇所において土留工の設置、止水壁設置、止水壁切断箇所までの土砂の掘削及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への敷均し、締固め 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr></table>		構造物掘削 特殊部 A 2	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) 及び鋼管擁壁施工区間における施工箇所 (STA1001+10.0 が ML)において、基礎地盤の土砂及び軟岩の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 3	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 2 橋脚) の施工箇所において土留工の設置、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 4	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) の施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 B 1	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 B 2	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) 施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 C 1	1) トマム川橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 C 2	1) トマム川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) のオープンケーソン止水壁区間における施工箇所において土留工の設置、止水壁設置、止水壁切断箇所までの土砂の掘削及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への敷均し、締固め 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替
	構造物掘削 特殊部 A 2	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) 及び鋼管擁壁施工区間における施工箇所 (STA1001+10.0 が ML)において、基礎地盤の土砂及び軟岩の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替															
構造物掘削 特殊部 A 3	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 2 橋脚) の施工箇所において土留工の設置、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 A 4	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) の施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 B 1	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 B 2	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) 施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 C 1	1) トマム川橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 C 2	1) トマム川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) のオープンケーソン止水壁区間における施工箇所において土留工の設置、止水壁設置、止水壁切断箇所までの土砂の掘削及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への敷均し、締固め 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																
	正	<table><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 2</td><td>1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) 及び鋼管擁壁施工区間における施工箇所 (STA1001+10.0 が ML)において、基礎地盤の土砂及び軟岩の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 3</td><td>1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 2 橋脚) の施工箇所において土留工の設置、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 A 4</td><td>1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) の施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 1</td><td>1) トマム橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 B 2</td><td>1) トマム橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) 施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替 5) 盛替コンクリート (D1-I) の打設</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 C 1</td><td>1) トマム川橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替</td></tr><tr><td>構造物掘削 特殊部 C 2</td><td>1) トマム川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) のオープンケーソン止水壁区間における施工箇所において土留工の設置、止水壁設置、止水壁切断箇所までの土砂の掘削及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への敷均し、締固め 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替</td></tr></table>		構造物掘削 特殊部 A 2	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) 及び鋼管擁壁施工区間における施工箇所 (STA1001+10.0 が ML)において、基礎地盤の土砂及び軟岩の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 3	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 2 橋脚) の施工箇所において土留工の設置、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 A 4	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) の施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 B 1	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 B 2	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) 施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替 5) 盛替コンクリート (D1-I) の打設	構造物掘削 特殊部 C 1	1) トマム川橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替	構造物掘削 特殊部 C 2	1) トマム川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) のオープンケーソン止水壁区間における施工箇所において土留工の設置、止水壁設置、止水壁切断箇所までの土砂の掘削及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への敷均し、締固め 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替
構造物掘削 特殊部 A 2	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) 及び鋼管擁壁施工区間における施工箇所 (STA1001+10.0 が ML)において、基礎地盤の土砂及び軟岩の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 A 3	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( P 2 橋脚) の施工箇所において土留工の設置、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 A 4	1) 中トマム越川橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) の施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 B 1	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 B 2	1) トマム橋橋梁下部工 ( A 2 橋台) 施工箇所において土留工の設置・撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替 5) 盛替コンクリート (D1-I) の打設																
構造物掘削 特殊部 C 1	1) トマム川橋橋梁下部工 ( A 1 橋台) 施工箇所において土留工の設置・一部撤去、基礎地盤の土砂の掘削 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への運搬、敷均し、締固め 4) 含水量の調節、水替																
構造物掘削 特殊部 C 2	1) トマム川橋橋梁下部工 ( P 1 橋脚) のオープンケーソン止水壁区間における施工箇所において土留工の設置、止水壁設置、止水壁切断箇所までの土砂の掘削及びトマム地区すり置場から構造物埋戻し部への敷均し、締固め 2) 掘削箇所における積込み 3) トマム I C 盛土場への運搬、敷均し 4) 含水量の調節、水替																

# 正誤表(3)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所

特記仕様書  
2 7 - 6 - 1 構造物用  
コンクリート (3) 支払

誤

資料」の関連する項目に準ずるものとする。

2 7 - 6 - 2 型わく工

(1) 種別

共通仕様書 8 - 3 - 2 「型わくの種別」に次を追加する。

単価表の項目	使用箇所	使用材料	鉄筋の種類
C (A)	ケーソン躯体の頂版埋設型枠	H594, H300, H100 型枠用合板 ブラケット用インサート	SS400 t=24mm F10T, M22 L=300mm

(2) 支払

共通仕様書 8 - 3 - 6 「支払」に次の項目を追加する。

型枠 C (A) の支払は、前項の規定により検測された数量に対し、1 m<sup>2</sup>当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う埋設型わくの材料製作、据付け等埋設型わくの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事の施工を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
8 - (2) 型わく C (A)	m <sup>2</sup>

2 7 - 6 - 3 鉄筋工

(1) 種別

共通仕様書 8 - 4 - 2 「鉄筋の種別」に次を追加する。

単価表の項目	使用箇所	継手の種類	鉄筋の種類
A (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	SD345 エポキシ樹脂塗装
B (E)	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	SD345 エポキシ樹脂塗装
C (E)	鉄筋コンクリート構造物	機械式定着	SD345 エポキシ樹脂塗装
A (H)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	SD490
A (H) (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	SD490 エポキシ樹脂塗装
B (H) (E)	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	SD490 エポキシ樹脂塗装

(2) 適用すべき諸基準

適用すべき諸基準は共通仕様書 8 - 4 - 3 「適用すべき諸基準」に示す他、次のとおりと

34

正

資料」の関連する項目に準ずるものとする。

(3) 支払

共通仕様書 8 - 2 - 1 7 「支払」に次の項目を追加する。

単価表の項目	検測の単位
8 - (1) コンクリート B 1 - 2 (A) X 1 - 1	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>

2 7 - 6 - 2 型わく工

(1) 種別

共通仕様書 8 - 3 - 2 「型わくの種別」に次を追加する。

単価表の項目	使用箇所	使用材料	鉄筋の種類
C (A)	ケーソン躯体の頂版埋設型枠	H594, H300, H100 型枠用合板 ブラケット用インサート	SS400 t=24mm F10T, M22 L=300mm

(2) 支払

共通仕様書 8 - 3 - 6 「支払」に次の項目を追加する。

型枠 C (A) の支払は、前項の規定により検測された数量に対し、1 m<sup>2</sup>当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う埋設型わくの材料製作、据付け等埋設型わくの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事の施工を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
8 - (2) 型わく C (A)	m <sup>2</sup>

2 7 - 6 - 3 鉄筋工

(1) 種別

共通仕様書 8 - 4 - 2 「鉄筋の種別」に次を追加する。

単価表の項目	使用箇所	継手の種類	鉄筋の種類
A (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	SD345 エポキシ樹脂塗装
B (E)	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	SD345 エポキシ樹脂塗装
C (E)	鉄筋コンクリート構造物	機械式定着	SD345 エポキシ樹脂塗装
A (H)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	SD490
A (H) (E)	鉄筋コンクリート構造物	重ね継手	SD490 エポキシ樹脂塗装
B (H) (E)	鉄筋コンクリート構造物	機械継手	SD490 エポキシ樹脂塗装

(2) 適用すべき諸基準

適用すべき諸基準は共通仕様書 8 - 4 - 3 「適用すべき諸基準」に示す他、次のとおりと

34

正誤表(4)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所		正誤区分											
特記仕様書 2 7 - 7 - 1 交通保安 要員（４）支 払	誤	<p>※上表の配置時間は、作業時間とする。</p> <p>なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置場所及び配置時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>また、上表「⑥村道上トマム団体線と⑦トマム川橋工事用道路との交差部及び通行止め時作業」以外に配置する箇所は関連する他工事も配置しているため、他工事と調整を図り配置すること。</p> <p>(2) 交通保安要員計画について</p> <p>受注者は、業務を遂行するに十分な能力を有する交通保安要員を配置するものとし、あらかじめ氏名、経歴及び有資格情報等を記載した名簿を作成し、監督員に提出するものとする。</p> <p>なお、交通保安要員を変更又は追加した場合は、速やかに名簿を作成し監督員に提出するものとする。</p> <p>(3) 交通保安要員実施報告書の提出時期について</p> <p>受注者は、共通仕様書 1 9－4－3「交通保安要員計画」に規定する交通保安要員実施報告書を翌月上旬までに監督員に提出するものとする。</p> <p>2 7-8 オープンケーソン工</p> <p>(1) 定義</p> <p>オープンケーソン工とは、刃口金物の製作・据付、圧入ケーソンを沈下させるために使用する圧入設備のアンカー工の施工、鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用し、掘削沈下させることをいう。</p> <p>(2) 適用すべき諸基準</p> <p>構造物施工管理要領【令和 6 年 1 0 月 東日本高速道路株式会社】</p> <p>土工施工管理要領【令和 5 年 7 月 東日本高速道路株式会社】</p> <p>試験法</p> <p>道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）【平成 29 年 11 月（社）日本道路協会】</p> <p>道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）【平成 29 年 3 月（社）日本道路協会】</p> <p>V S L 工法設計施工基準【令和 6 年 12 月 V S L 協会】</p> <p>(3) 種別</p> <p>オープンケーソン工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>施工場所</th></tr><tr><td>オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 1</td><td>トマム川橋 P 1 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。</td></tr><tr><td>オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 2</td><td>トマム川橋 P 2 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。</td></tr><tr><td>オープンケーソン工 圧入ケーソン沈下 B 1</td><td>トマム川橋 P 1 橋脚に圧入ケーソン沈下を施工するもの。 鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用して掘削沈下させるもの。</td></tr><tr><td>オープンケーソン工 圧入ケーソン沈下</td><td>トマム川橋 P 2 橋脚に圧入ケーソン沈下を施工するもの。 鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用して掘削沈下させるもの。</td></tr></table> <p>36</p>	単価表の項目	施工場所	オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 1	トマム川橋 P 1 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。	オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 2	トマム川橋 P 2 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。	オープンケーソン工 圧入ケーソン沈下 B 1	トマム川橋 P 1 橋脚に圧入ケーソン沈下を施工するもの。 鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用して掘削沈下させるもの。	オープンケーソン工 圧入ケーソン沈下	トマム川橋 P 2 橋脚に圧入ケーソン沈下を施工するもの。 鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用して掘削沈下させるもの。	正
	単価表の項目	施工場所											
オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 1	トマム川橋 P 1 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。												
オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 2	トマム川橋 P 2 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。												
オープンケーソン工 圧入ケーソン沈下 B 1	トマム川橋 P 1 橋脚に圧入ケーソン沈下を施工するもの。 鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用して掘削沈下させるもの。												
オープンケーソン工 圧入ケーソン沈下	トマム川橋 P 2 橋脚に圧入ケーソン沈下を施工するもの。 鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用して掘削沈下させるもの。												
	<p>※上表の配置時間は、作業時間とする。</p> <p>なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置場所及び配置時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>また、上表「⑥村道上トマム団体線と⑦トマム川橋工事用道路との交差部及び通行止め時作業」以外に配置する箇所は関連する他工事も配置しているため、他工事と調整を図り配置すること。</p> <p>(2) 交通保安要員計画について</p> <p>受注者は、業務を遂行するに十分な能力を有する交通保安要員を配置するものとし、あらかじめ氏名、経歴及び有資格情報等を記載した名簿を作成し、監督員に提出するものとする。</p> <p>なお、交通保安要員を変更又は追加した場合は、速やかに名簿を作成し監督員に提出するものとする。</p> <p>(3) 交通保安要員実施報告書の提出時期について</p> <p>受注者は、共通仕様書 1 9－4－3「交通保安要員計画」に規定する交通保安要員実施報告書を翌月上旬までに監督員に提出するものとする。</p> <p>(4) 支払</p> <p>共通仕様書 1 9－4－5「支払」に次の項目を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>19－(2) 交通保安要員 交通誘導警備員 B（Y）</td><td>人・日</td></tr></table> <p>2 7-8 オープンケーソン工</p> <p>(1) 定義</p> <p>オープンケーソン工とは、刃口金物の製作・据付、圧入ケーソンを沈下させるために使用する圧入設備のアンカー工の施工、鉄筋コンクリート構造のケーソンを圧入設備を利用し、掘削沈下させることをいう。</p> <p>(2) 適用すべき諸基準</p> <p>構造物施工管理要領【令和 6 年 1 0 月 東日本高速道路株式会社】</p> <p>土工施工管理要領【令和 5 年 7 月 東日本高速道路株式会社】</p> <p>試験法</p> <p>道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）【平成 29 年 11 月（社）日本道路協会】</p> <p>道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）【平成 29 年 3 月（社）日本道路協会】</p> <p>V S L 工法設計施工基準【令和 6 年 12 月 V S L 協会】</p> <p>(3) 種別</p> <p>オープンケーソン工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>施工場所</th></tr><tr><td>オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 1</td><td>トマム川橋 P 1 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。</td></tr></table> <p>36</p>	単価表の項目	検測の単位	19－(2) 交通保安要員 交通誘導警備員 B（Y）	人・日	単価表の項目	施工場所	オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 1	トマム川橋 P 1 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。				
単価表の項目	検測の単位												
19－(2) 交通保安要員 交通誘導警備員 B（Y）	人・日												
単価表の項目	施工場所												
オープンケーソン工 刃口金物 製作・据付 A 1	トマム川橋 P 1 橋脚に刃口金物 製作・据付を施工するもの。 ケーソン沈下が容易にできるように金物で製作された部材形状とする。												

正誤表(5)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所

正誤区分

誤

特記仕様書  
2 7-9 鋼管擁壁工  
(3) 種別

正

2 7-9 鋼管擁壁工

(1) 定義

鋼管擁壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従い、鋼管杭・グラウンドアンカーを打込み、鋼管擁壁の前面に壁工を施工し連続した擁壁を施工するものをいう。

(2) 適用すべき諸基準

・設計要領第二集【擁壁建設編・土質工建設編】【令和元年 7 月 東日本高速道路株式会社】

・道路橋示方書・同解説【平成 29 年 3 月 (公社) 日本道路協会】

・構造物施工管理要領【令和 2 年 7 月 東日本高速道路株式会社】

・コンクリート施工管理要領【令和 2 年 7 月 東日本高速道路株式会社】

・圧入工法設計・施工指針【国際匠入学会 2020 年版】

・道路土工 擁壁工指針 (平成 24 年度版)【平成 24 年 7 月 (公社) 日本道路協会】

・グラウンドアンカー設計・施工要領【平成 1 9 年 8 月 東日本高速道路株式会社】

・グラウンドアンカー設計・施工基準 同解説【(社) 地盤工学会】

(J G S 4 1 0 1 - 2 0 1 2)

(3) 種別

鋼管擁壁工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。

単価表の項目	区分内容	適用
鋼管杭 A (L=a m)	鋼管杭Φ 8 0 0 mm、t=12mm の材料を回転切削圧入で施工し、腹起し、鋼製台座の設置、頭部鋼管切断、反力架台の設置・撤去するもの。	切断撤去 0.68～0.90m
鋼管杭 B (L=a m)	鋼管杭Φ 1 2 0 0 mm、t=12mm の材料を回転切削圧入で施工し、腹起し、鋼製台座の設置、頭部鋼管切断、反力架台の設置・撤去するもの。	切断撤去 0.89～0.99m
鋼管杭 C (L=a m)	鋼管杭Φ 1 2 0 0 mm、t=14mm の材料を回転切削圧入で施工し、頭部鋼管切断するもの。	切断撤去 1.03～9.10m
杭間部材 (L=a m)	鋼管杭Φ 3 1 8 . 5 mm、t=10.3mm の材料を回転切削圧入で施工し、頭部鋼管切断するもの。	切断撤去 0.73～8.59m
グラウンドアンカー A (L=a m)	種別：残置 削孔径：Φ90mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×2 本 設計荷重：110kN	切断撤去
グラウンドアンカー B (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ90mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×2 本 設計荷重：160kN	切断撤去
グラウンドアンカー C (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ90mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×3 本 設計荷重：110kN	切断撤去
グラウンドアンカー D (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ90mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×4 本 設計荷重：110kN	切断撤去
グラウンドアンカー E (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ90mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×4 本 設計荷重：140kN	切断撤去
グラウンドアンカー F (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ115mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×6 本 設計荷重：120kN	切断撤去
グラウンドアンカー G (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ115mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×6 本 設計荷重：160kN	切断撤去
荷重計設置工 1 1 0 k N	グラウンドアンカー C 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	

荷重計設置工 1 2 0 k N	グラウンドアンカー D 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	
荷重計設置工 1 4 0 k N	グラウンドアンカー E 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	
荷重計設置工 1 6 0 k N	グラウンドアンカー B 及び G 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	
異形スタッド設置工 D16×300	鋼管杭Φ 8 0 0 及び 1 2 0 0 の表面に被覆コンクリートを一体させるため異形スタッドを施工するもの。	

注) a は鋼管杭、杭間部材、グラウンドアンカーの長さを示す。  
腹起しのリースは約 1 3 . 5 ヶ月を想定している。

(4) 材料

1) 鉄筋コンクリート材料

鉄筋コンクリート材料に関しては共通仕様書第 8 章及び本特記仕様書 2 7-6-3 の規定に適合したものでなければならない。

2) 鋼管、杭間部材

鋼管及び杭間部材に使用する鋼材は、道路橋示方書 1 3.1 の規定に適合するものでなければならず、使用する鋼材の規格証明書は監督員に提出しなければならない。

3) グラウンドアンカー材料に関しては「グラウンドアンカー設計・施工要領」及び「グラウンドアンカー設計施工基準 同解説」によるものとする。

4) 溶接材料は道路橋示方書 1 3.1 の規定に適合するものでなければならない。

(5) 施工

1) 鋼管杭、杭間部材及び異形スタッドの施工は、設計図書及び監督員の指示に従い、圧入工法での打込み方式とし、施工については、「圧入工法設計・施工指針」第 4 章施工指針によるものとする。品質管理・出来形管理は「構造物施工管理要領」2.基礎構造物によるものとする。鋼管杭の継手は溶接継手とし継手位置は千鳥配置で構造上の弱点にならない箇所へ設けるものとする。なお、現場溶接を行うに当たり、溶接工は JIS Z 3801 (溶接技術検定における試験方法ならびに判定基準) に定められた技術検定試験に合格した者でなければならない。

2) グラウンドアンカーの施工に関しては「グラウンドアンカー設計・施工要領」及び「グラウンドアンカー設計施工基準 同解説」によるものとする。

3) グラウンドアンカー削孔の漏水処理は、関係法令に従って適切に漏水処理を行うものとし、施工に先立ち、施工計画書を提出するものとする。

4) グラウンドアンカー工の削孔中に設計図書において想定している地質と現地の地質の相違が確認された場合は速やかに監督員に報告し、指示を受けるものとする。土留め工に用いるグラウンドアンカーの品質及び出来形管理は「土工施工管理要領 Ⅲ. 切土工 4-1 グラウンドアンカー工」によるものとし、引抜き試験、多サイクル確認試験、1 サイクル確認試験に要する費用については関連する契約単価の項目に含まれるものとする。

5) 現地の地盤状況や漏水状況により土留め壁の打込みが困難な場合や現地の状況に適していない場合には土留め壁打ち込みの工法や土留め壁の種別を変更する必要がある。

グラウンドアンカー F (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ115mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×6 本 設計荷重：783kN	
グラウンドアンカー G (L=a m)	種別：永久 削孔径：Φ115mm PC 鋼より線の種別：Φ12.7mm×6 本 設計荷重：799kN	
荷重計設置工 1 1 0 k N	グラウンドアンカー C 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	作用荷重：394 kN、降伏荷重：468kN
荷重計設置工 1 2 0 k N	グラウンドアンカー D 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	作用荷重：439 kN、降伏荷重：494kN
荷重計設置工 1 4 0 k N	グラウンドアンカー E 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	作用荷重：505 kN、降伏荷重：624kN
荷重計設置工 1 6 0 k N	グラウンドアンカー F 及び G 定着後、荷重管理に用いる荷重計の設置	作用荷重：764～783 kN、降伏荷重：936kN

異形スタッド設置工 D16×300

注) a は鋼管杭、杭間部材、グラウンドアンカーの長さを示す。  
腹起しのリースは約 1 3 . 5 ヶ月を想定している。

(4) 材料

1) 鉄筋コンクリート材料

鉄筋コンクリート材料に関しては共通仕様書第 8 章及び本特記仕様書 2 7-6-3 の規定に適合したものでなければならない。

2) 鋼管、杭間部材

鋼管及び杭間部材に使用する鋼材は、道路橋示方書 1 3.1 の規定に適合するものでなければならず、使用する鋼材の規格証明書は監督員に提出しなければならない。

3) グラウンドアンカー材料に関しては「グラウンドアンカー設計・施工要領」及び「グラウンドアンカー設計施工基準 同解説」によるものとする。

4) 溶接材料は道路橋示方書 1 3.1 の規定に適合するものでなければならない。

(5) 施工

1) 鋼管杭、杭間部材及び異形スタッドの施工は、設計図書及び監督員の指示に従い、圧入工法での打込み方式とし、施工については、「圧入工法設計・施工指針」第 4 章施工指針によるものとする。品質管理・出来形管理は「構造物施工管理要領」2.基礎構造物によるものとする。鋼管杭の継手は溶接継手とし継手位置は千鳥配置で構造上の弱点にならない箇所へ設けるものとする。なお、現場溶接を行うに当たり、溶接工は JIS Z 3801 (溶接技術検定における試験方法ならびに判定基準) に定められた技術検定試験に合格した者でなければならない。

2) グラウンドアンカーの施工に関しては「グラウンドアンカー設計・施工要領」及び「グラウンドアンカー設計施工基準 同解説」によるものとする。

3) グラウンドアンカー削孔の漏水処理は、関係法令に従って適切に漏水処理を行うものとし、施工に先立ち、施工計画書を提出するものとする。

4) グラウンドアンカー工の削孔中に設計図書において想定している地質と現地の地質の相違が確認された場合は速やかに監督員に報告し、指示を受けるものとする。土留め工に

### 正誤表(6)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

[illegible]



正誤表(7)

工事件名) 道東自動車道 トナム南富良野地区下部工工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 (橋梁工) トナム橋 下部工 (62/63)</p>	<p>誤</p> <p>A2橋台仮設土留め工詳細図 (その1)</p> <p>A-A断面図 S-1/200</p> <p>B-B断面図 S-1/200</p> <p>山留平面図 S-1/200</p> <p>62 / 63</p>
	<p>正</p> <p>A2橋台仮設土留め工詳細図 (その1)</p> <p>A-A断面図 S-1/200</p> <p>B-B断面図 S-1/200</p> <p>山留平面図 S-1/200</p> <p>62 / 63</p>

### 正誤表(8)

工事件名) 道東自動車道 トナム南富良野地区下部工工事

[illegible]

### 正誤表(9)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

[illegible]



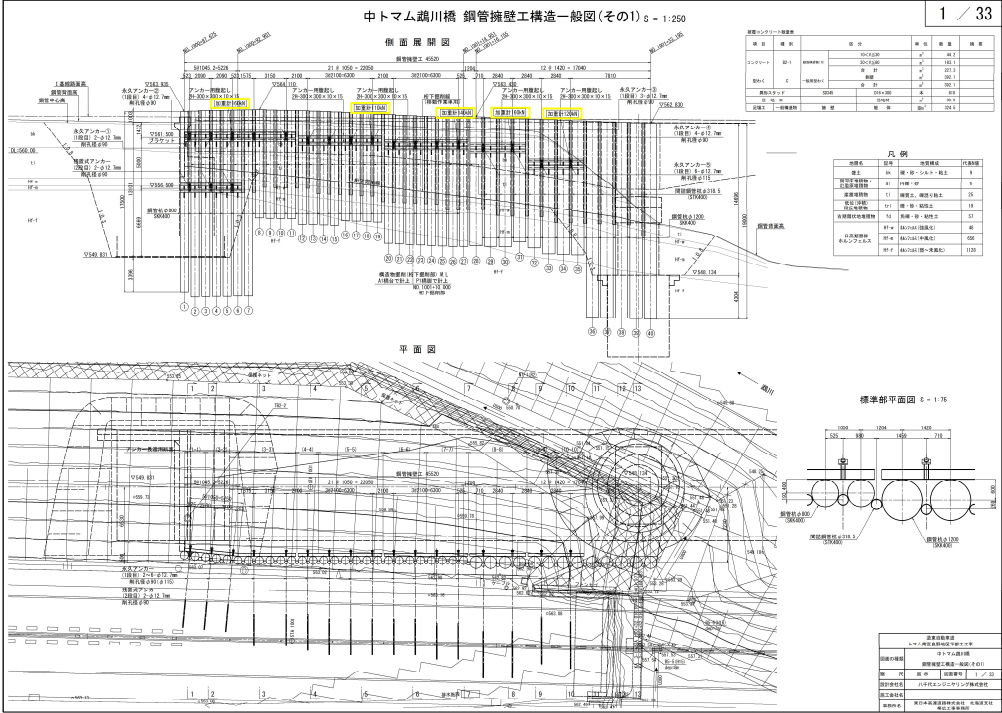
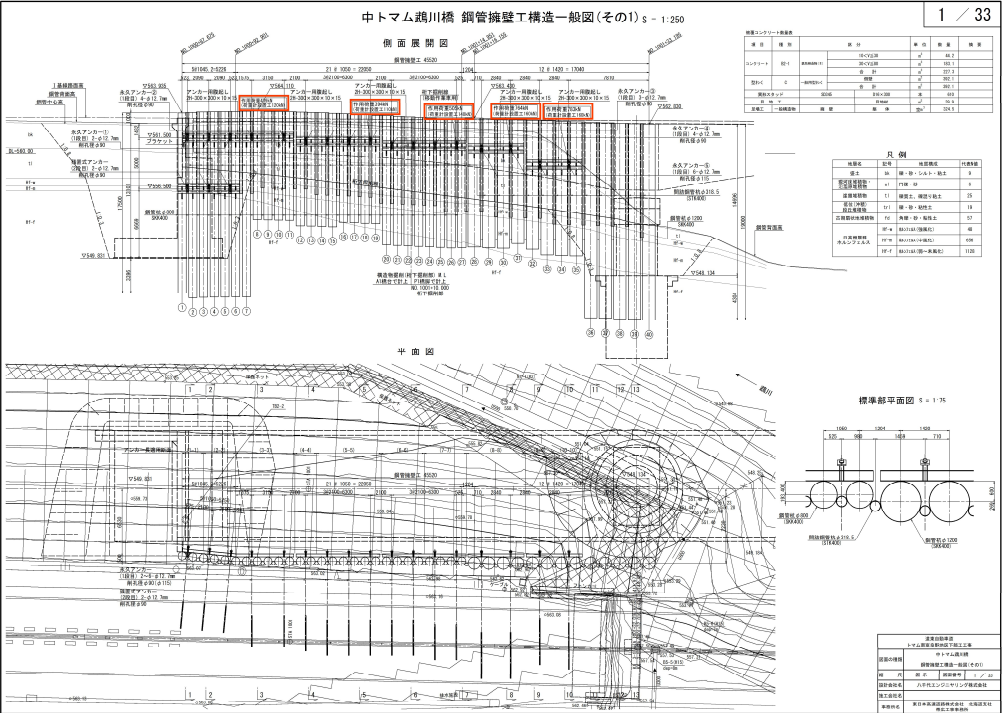
正誤表(10)

工事件名) 道東自動車道 トナム南富良野地区下部工工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 (橋梁工) トナム川橋 下部工 (99/110)</p>	<p>誤</p> <div data-bbox="406 360 1433 1084"> <p>P2橋脚オープンケーソン圧入装置図 S=1.250 99 / 110</p> </div>
	<p>正</p> <div data-bbox="406 1234 1433 1957"> <p>P2橋脚オープンケーソン圧入装置図 S=1.250 99 / 110</p> </div>

正誤表(11)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 (擁壁工) (1/33)</p>	<p>誤</p> 
<p>正</p>	<p>正</p> 

正誤表(12)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

修正箇所	正誤区分
誤	<div data-bbox="411 369 1422 1079"> <div> <p>中トマム鶴川橋 鋼管擁壁工構造一般図(その3) <math>\frac{1}{250}</math></p> <p>断面図(1-1) NO.1000-88 NO.1000-89 8158</p> <p>断面図(3-3) NO.1000-90 NO.1000-91 8176</p> <p>断面図(2-2) NO.1000-90 NO.1000-91 8163</p> <p>断面図(1-1)・(2-2) 部材リスト</p> <p>断面図(3-3) 部材リスト</p> <p>断面図(1-1)・(2-2) 鋼材リスト</p> <p>断面図(3-3) 鋼材リスト</p> <p>凡例</p> <p>鋼材延長計【断面図(1-1)】</p> <p>鋼材延長計【断面図(2-2)】</p> <p>鋼材延長計【断面図(3-3)】</p> <p>鋼材延長計【断面図(1-1)・(2-2)】</p> </div> </div>
設計図 (擁壁工) (3/33)	<div data-bbox="411 1243 1422 1953"> <div> <p>中トマム鶴川橋 鋼管擁壁工構造一般図(その3) <math>\frac{1}{250}</math></p> <p>断面図(1-1) NO.1000-88 NO.1000-89 8158</p> <p>断面図(3-3) NO.1000-90 NO.1000-91 8176</p> <p>断面図(2-2) NO.1000-90 NO.1000-91 8163</p> <p>断面図(1-1)・(2-2) 部材リスト</p> <p>断面図(3-3) 部材リスト</p> <p>断面図(1-1)・(2-2) 鋼材リスト</p> <p>断面図(3-3) 鋼材リスト</p> <p>凡例</p> <p>鋼材延長計【断面図(1-1)】</p> <p>鋼材延長計【断面図(2-2)】</p> <p>鋼材延長計【断面図(3-3)】</p> <p>鋼材延長計【断面図(1-1)・(2-2)】</p> </div> </div>

正誤表(13)

工事件名) 道東自動車道 トナム南富良野地区下部工工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図  
(擁壁工)  
(4/33)

正

中トマム越川橋 鋼管擁壁工構造一般図(その4)  $s = 1:250$

断面図(4-4) 断面図(6-6)

断面図(5-5)

断面図(4-4)・(5-5) 部材リスト

断面図(6-6) 部材リスト

断孔延長計【断面図(4.5)】

断孔延長計【断面図(6.7)】

設計図(擁壁工) (4/33)

中トマム越川橋 鋼管擁壁工構造一般図(その4)  $s = 1:250$

断面図(4-4) 断面図(6-6)

断面図(5-5)

断面図(4-4)・(5-5) 部材リスト

断面図(6-6) 部材リスト

断孔延長計【断面図(4.5)】

断孔延長計【断面図(6.7)】

設計図(擁壁工) (4/33)

正誤表(14)

工事件名) 道東自動車道 トナム南富良野地区下部工工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 (擁壁工) (5/33)</p>	<p>誤</p> <div data-bbox="411 369 1422 1081"> <p>中トナム鶴川橋 鋼管擁壁工構造一般図(その5) <math>s = 1/250</math></p> <p>断面図(7-7) NO. 1001+15 NO. 1001+16.8234 NO. 1001+22 NO. 1001+23.8255</p> <p>断面図(8-8) NO. 1001+20 NO. 1001+21.8249</p> <p>断面図(7-7) 部材リスト</p> <p>断面図(8-8) 部材リスト</p> <p>断面図(9-9) 部材リスト</p> <p>凡例</p> <p>削孔延長計【断面図(8,9,10)】</p> <p>基本データ</p> <p>設計者</p> <p>監理者</p> <p>調査者</p> <p>設計者</p> <p>監理者</p> <p>調査者</p> </div>
<p>正</p>	<p>正</p> <div data-bbox="411 1243 1422 1955"> <p>中トナム鶴川橋 鋼管擁壁工構造一般図(その5) <math>s = 1/250</math></p> <p>断面図(7-7) NO. 1001+15 NO. 1001+16.8234 NO. 1001+22 NO. 1001+23.8255</p> <p>断面図(8-8) NO. 1001+20 NO. 1001+21.8249</p> <p>断面図(7-7) 部材リスト</p> <p>断面図(8-8) 部材リスト</p> <p>断面図(9-9) 部材リスト</p> <p>凡例</p> <p>削孔延長計【断面図(8,9,10)】</p> <p>基本データ</p> <p>設計者</p> <p>監理者</p> <p>調査者</p> <p>設計者</p> <p>監理者</p> <p>調査者</p> </div>

正誤表(15)

工事件名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

[illegible]